



# 日々に新たに

志高く、夢に向かって、たくましく未来を拓く児童の育成

気仙沼市立鹿折小学校  
校長 菅原 理恵

発行日 令和2年7月3日（金）

## 学校再開から1ヶ月がたちました

6月1日から本格的な学校再開となり、6月4日の入学式と、ようやく令和2年度がスタートしたという気がします。子供たちの笑顔や賑やかな声が学校のいたるところに響き、やっぱり「子供たちがいてこそ」の学校だなあとしみじみうれしく思いました。

改めまして、この4月から鹿折小学校に赴任いたしました、校長の菅原 理恵と申します。

1年生の保護者の皆様や本部役員の皆様には、自己紹介をいたしました。全保護者の皆様には、なかなかお会いできる機会がなく、学校再開から無事に1ヶ月が過ぎたことを機会に、ご挨拶いたしたいと思い、パソコンに向かいました。

前任校は、宮城教育大学附属幼稚園でした。とはいえ、私自身は生まれも育ちも気仙沼で、長年市内の小学校に勤務しておりましたので、2年ぶりのふるさとでの勤務となります。

附属幼稚園は、宮城県内や仙台市内の小学校教諭が「人事交流」で勤務するので、私を始め、「初めて幼稚園勤務」という教員がほとんどという所でした。お陰様で、「学校教育の始まり」といわれる「幼稚園教育」や「幼稚園教育から見た小学校教育」という「教育の原点」ともいえる事柄を深く学ぶことができました。家庭と学校が共に同じ方向を見て、幼児期から小学校学童期までの子供たちのより良い発達（育ち）を目指していくことが、子どもの「より良い人生」につながっていくということを強く実感した日々でもありました。この「コロナ禍」の中にあって、こうして保護者の皆様のご理解やご協力を得ながら「新しい生活様式での学校生活」を進めていると「学校と家庭がともに手を携えて子供たちを育てていくこと」は、これからますます大切になっていくと感じております。

1年生の保護者の皆様や本部役員の皆様には、自己紹介をいたしました。全保護者の皆様には、なかなかお会いできる機会がなく、ご挨拶が遅くなりました。

6月1日から19日まで、まずは「新しい生活様式」に慣れながら、学級づくりを重視し、新年度の学習活動を軌道にのせることを目標に過ごしました。その後、22日からは、熱中症対策のためにエアコンのある通常教室に移動し、「新しい生活様式」をしっかりと定着させ、子供たちの学びを保障するためにはどうするか、職員全員で知恵を絞って取り組んできました。

学校再開から1ヶ月が過ぎ、並んで下校しようとしている1年生が「密だよ。離れて。」と声をかけていたり、給食も飛沫が飛ばないように、静かに食べていたりする様子を見るにつけ、子供たちも頑張っているなあと心を打たれます。保護者の皆様にも、毎朝晩の検温や健康カードへの記入、手洗い、マスク着用等へのご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



### 「日々に新たに」とは…

校長室便りタイトル「日々に新たに」は、校庭プール側にある「希望の丘」に建てられている石碑に記されている文字からつけました。良い言葉だなあと、タイトルにしました。この言葉は、殷（いん）の湯王が毎朝眺めていたという「四書五経」の言葉「苟（まこと）に日に新たにせば、日々に新た、また日に新たならん」に由来しているそうです。意味は「昨日よりも今日、今日よりも明日と、日々よりよくなるように行いを正していかなければならない」です。東日本大震災から10年が過ぎようとし、コロナ禍の今、今日を無事に迎えらることを喜び、今しかない今日のこの日を大切にしより良い明日を信じて、日々を精一杯生きていければ…と思います。